

震災の記憶が30年引き継がれていく

thank you!

鹿西高校のみなさん、素敵な時間をありがとうございました！



「アドラ・ジャパン」の三牧さんのお世話で、中能登町の鹿西高校のみなさんが、足湯とカフェを開催してくださいました。最初は緊張していた生徒さんたちもだんだんと地区の人たちと打ち解けて楽しそうに話をしていました。

足湯の手のマッサージも学

校で事前に講習を受けたそうでとても丁寧にしてくれました。孫のような高校生にマッサージをしてもらったり、話ができたりと参加したみなさんは、とても喜んでいました。

「若い子と話していると私の方が元気をもらえるわ。」と話している人もいました。同じ震災を経験した能登の高校生がこうやって私たちの地区に来てくれたことに感謝です。

引率の木全先生、加護先生、そして生徒の坂本陽さん、須原悠衣さん、中西明日香さん、銭元志穂さん、国部心美さん、山本陽菜さん、坂本絢さん、元永愛菜さん、谷内南々葉さん、本当にありがとうございました。また是非、この下唐川に遊びに来てくださいね。

事務所に帰ってからの振り返りで

初めは緊張していたけれど、優しい声をかけていただき、マッサージも喜んでいただき、楽しかったと生徒たちが話していました。このような取り組みで、震災の記憶がプラス30年引き継がれる、と言うお話を伺ったときには慧眼の思いがいたしました。

皆様に喜んでいただけたこと、生徒に伝えます。通信も楽しみにしています。ありがとうございました。

鹿西高校 木全理恵

1995年1月17日の阪神淡路大震災から30年が経ちました。震災に対する風化のことも話題になっていましたが、同じ能登半島地震を経験し、そしてこうやってボランティアに参加した彼女たちには、30年以上能登半島地震のことが引き継がれていくのでしょうか。（文責：加代 等）

